ROTARY ETHICS & HISTORY

「二つの標語」と「四つのテスト」

ロータリーの歩みと、倫理の原点

国際ロータリー第2760地区　職業奉仕委員長会議　｜　加藤 徹（職業奉仕委員会 委員長・あまRC）

1900年初頭　ロータリーの誕生

弁護士 **ポール・ハリス**　たちによって創設される。

はじまり
会員の相互扶助と親睦

まもなく

やがて
第三者への「奉仕」を探求

内輪の助け合いから、社会に尽くす理念へ――ロータリー精神の芽生え。

1911年

二つの標語

全米ロータリークラブ連合会にて発表される。

> “
> 最もよく奉仕する者、
> 最もよく報われる
>
> — アーサー・シェルドン

> “
> 超我の奉仕
>
> — フランク・コリンズ

1950年　デトロイト大会で、正式な標語として採択される。

1949年

四つのテストの誕生

- **ハーバート・テイラー**が「四つのテスト」の版権を国際ロータリーに譲渡。
- **以来、**ロータリーの準公式な倫理基準となる。

— エピソード —

世界恐慌で**倒産寸前**だった会社を、
この「四つのテスト」の言葉で立て直した。

THE FOUR-WAY TEST

四つのテスト

言行は、これに照らしてから。

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

SUMMARY

理念と、実践のものさし

二つの標語

ロータリーの
理念・精神

四つのテスト

日々の
実践のものさし

言葉を、行動へ。